

反対意見	
質 問	回 答
子供の安全が確保できるか不安です。	候補地は浸水区域であるため、洪水時に指定避難所にはなりませんが、浸水対策のため校舎の嵩上げを実施しますので、予測困難な水害時に児童や周辺地域住民が逃げ遅れた場合などに、より安全に緊急避難場所として利用することが可能となります。また、避難者が救助されるまでの間の対策として地震時の指定避難所としての備蓄品を他の場所より多く備蓄するなどを検討をしております。
子供が少なくなってるのに、新しく新設する必要があるのか、今ある校舎の活用法は決まっているのか、地盤が弱い土地にわざわざ作る必要が本当にあるのか、避難場所として使えない（場所が場所なだけに、そこに避難する方が危険だと思う）のにお金をかける必要があるのか。小学校だけを新設する意味があるのか。	子供たちが少なくなっている事実を踏まえ平成21年度に整備計画を策定し市内全域で小学校の再編を実施してまいりました。東地区に関しましては5校あった小学校を1校に集約するものでございます。 地区の中心にあり高台に立地する、あすま北小学校も候補地として検討いたしました が、総合的に判断し最終候補地が優れた場所であるという結果になりました。また、候補地は浸水区域であるため、洪水時に指定避難所にはなりませんが、浸水対策のため校舎の嵩上げを実施しますので、予測困難な水害時に児童や周辺地域住民が逃げ遅れた場合などに、より安全に緊急避難場所として利用することが可能となります。また、避難者が救助されるまでの間の対策として地震時の指定避難所としての備蓄品を他の場所より多く備蓄するなどを検討をしております。
土地の権利者が利益を得るのではないのでしょうか。特定の一部の人が利益を得るような場所には反対致します。	今回候補地を選定する前提条件で「市の土地であること」「新たな用地を取得する場合は最小限であること」とし、候補地の大部分は市有地であるため、用地の取得は最小限であります。また、周辺への影響も少ない場所と考えております。
利根川や新利根川など河川が近くにあるので浸水の危険性が高い場所に新設すべきではない。	候補地は浸水区域であるため、洪水時に指定避難所にはなりませんが、浸水対策のため校舎の嵩上げを実施しますので、予測困難な水害時に児童や周辺地域住民が逃げ遅れた場合などに、より安全に避難場所として利用することが可能となります。また、児童や避難住民が救助されるまでの間の対策として地震時の指定避難所としての備蓄品を他の場所より多く備蓄するなどを検討をしております。
人通りが少ないので危険だと思います	歩道や防犯カメラ、防犯灯の整備に加え、見守り活動などを実施していきたいと考えております。
地盤が悪い	東中学校などを参考に調査及び対策を実施する予定です。
そもそも建設に反対です	極端に児童数の少ない学校は児童に与える影響も大きく、あすま北小学校においては、早ければ令和7年度には複式学級を編成する見込みとなっております。東地区全体を見ても児童数は減少傾向にあり、統合しても各学年の学級数は適正規模としては最小の2学級となる見込みとなっております。既存の小学校の老朽化も著しいことから、このタイミングでの統合が必要不可欠であると考えました。

反対意見	
災害時の安全面に不安であるため	候補地は浸水区域であるため、洪水時に指定避難所にはなりません。浸水対策のため校舎の嵩上げを実施しますので、予測困難な水害時に児童や周辺地域住民が逃げ遅れた場合などに、より安全に緊急避難場所として利用することが可能となります。また、避難者が救助されるまでの間の対策として地震時の指定避難所としての備蓄品を他の場所より多く備蓄するなどを検討しております。
北小学校が今改修工事中でトイレもとてもキレイになったと聞いたのでせっかくなら高台にある北小学校を使用して頂きたいです。 地盤強化費もかかるのと液状化する土地だと不安が残ります。	地区の中心にあり高台に立地する、あずま北小学校も候補地として検討いたしましたが、総合的に判断し最終候補地が優れた場所であるという結果になりました。また、現時点でもスクールバスが8台必要との見込みから、あずま北小学校付近の道路幅員を考えますと登校時下校時の道路環境に与える影響は大きいと考えております。東中学校などを参考に調査及び対策を実施する予定です。
デメリット部分全て	子供たちが少なくなっている事実を踏まえ平成21年度に整備計画を策定し市内全域で小学校の再編を実施してまいりました。東地区に関しましては5校あった小学校を1校に集約するものでございます。 地区の中心にあり高台に立地する、あずま北小学校も候補地として検討いたしましたが、総合的に判断し最終候補地が優れた場所であるという結果になりました。浸水想定エリアに建設することから最大限の対策を実施する予定です。
地盤が悪い場所にわざわざ建てる必要がない。 安全第一であれば、まずは建物が強固でないと意味がない。	地盤に関しては東中学校などを参考に調査及び対策を実施し、建物に関しては浸水想定エリアに建設することから最大限の対策を実施する予定です。
川の氾濫などが起こった際に、利根川と新利根川に挟まれていて、どのように避難するのか？子どもの命と避難を考えたら、新利根川より北側に建設すべきではないかと思えます。	地区の中心にあり高台に立地する、あずま北小学校も候補地として検討いたしましたが、総合的に判断し最終候補地が優れた場所であるという結果になりました。浸水想定エリアに建設することから最大限の対策を実施する予定です。防災担当部局や河川事務所との協議の上、実効的な対策を講じていきたいと考えております。
つくば市をはじめとして、県内の多くの地域で義務教育学校としているなか、そうではなくあえて中学校と小学校を離す理由（工事の問題ではなく、学校生活として小中一貫を選ばない理由）を知りたいです。 それと、これから人口が減っていく稲敷市では、多額の造成費をかけて新しい土地に建てるよりも既存の学校用地を使えるならその方が負担が少なくいいのではと思いました。	幼小中一貫教育は市全体に関係しますので、検討の結果このタイミングでの導入はしないことといたしました。東中学校も候補地として検討いたしましたが、総合的に判断し私有地である最終候補地が優れた場所であるという結果になりました。
地盤が弱い	東中学校などを参考に調査及び対策を実施する予定です。
東中を利用しての方が良いから	東中学校も候補地として検討いたしましたが、総合的に判断し最終候補地が優れた場所であるという結果になりました。